

立命館大学大学院 先端総合学術研究科
院生プロジェクト 生命論研究会 公開研究会

ナラティブ・メディシンを考える

ケア、権力、そして〈語り/聞き〉の生政治

「ナラティブ・メディシン (Narrative Medicine)」は、医療における人文学的視点の導入として、患者の語りや物語的経験に焦点を当て、医師と患者の間に共感的関係を築く実践として注目されてきた。だがその一方で、ナラティブ・メディシンが専門職教育への取り組み、臨床現場における「共感の技術化」などにより、ナラティブ・メディシンの実践自体が制度的な文脈に包摂され、あらたな規範性や支配の装置として機能する可能性も指摘され得る。

本公開研究会では、「語ること」と「聞くこと」の非対称性、臨床現場における「語り」の管理、記録と再編成の倫理、そして「共感」が前提とする身体・関係性の政治性を再考する。ナラティブ・メディシンが持つ可能性と限界を、思想史・医療史・倫理学の交差点から批判的に検討するため、秋葉峻介講師を招き「作品としての生命の政治学」としての視座を開く。

プログラム

15:30～15:40 オープニングリマークス

15:40～16:30 基調講演

自己を作品化する実践としての共同意思決定？
フィクションとパレーシア、あるいはそのはざままで
秋葉 峻介 (山梨大学 講師)

16:30～17:00 プレゼンテーション

テキスト化される〈生〉
ナラティブとしての臨床的自己
QU Honglin (先端研 博士課程)

17:00～17:30 研究会メンバーによる口頭発表

17:30～18:30 総合討論

日時

2025年8月1日 (金) 15:30～18:30

場所

立命館大学 大阪梅田キャンパス 演習室2

(入場受付は15:00から)

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル5階

Zoom

ID: 981 739 4364 パスコード: 999044

参加申込

<https://forms.gle/ekuNeF5nP3deSLAYA>

資料準備の都合上、お申し込みは開催日の3日前までお願いいたします。なお、終了後には情報交換会（懇親会）を予定しております。参加をご希望の方は、必ずお申し込み時にその旨をご記入ください。

